令和6年9月30日

5年生の保護者のみなさまへ

河内長野市立南花台小学校
校　長　　安 田　喜 孝

「令和6年度すくすくウォッチ」の結果について

錦秋の候、保護者のみなさまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校教育のためにご支援ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、4月23日(火)に実施しました、令和6年度すくすくウォッチの結果について分析(成果と課題)及び取組みをご報告させていただきます。

《基本的な考え方》

すくすくウォッチは、子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることを目的とし、子どもたちに各教科の学力に加え、ことばの力や文章や情報を読み取り考える力、様々な情報を活用する力、そして「見えない学力」と言われるねばり強さや好奇心などを育む、大阪府としての取組みです。

これらをふまえて、本校では、次に挙げるような成果が期待されると考えております。

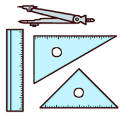
○子どもたちは、それぞれの学習の到達状況を知ることで、学習意欲を高め、自ら目標を持って今後の学習の改善や励みになる。

○学校は、自校の状況をより詳細に分析することで、子どもたちの確かな学力及び教員の指導力・授業力の向上につながる。

《調査結果の取り扱い》

◇本調査により測定できるのは、学力の限られた一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。すべての学力を捉えられているものではないことに十分留意して取り扱うことが必要です。

◇学校は、「子どもにどのような力がついてきたのか」「学校がどのような教育を進めているのか」「子どもの学習状況や生活習慣等にどのような良い点・課題があるのか」など、一人ひとりの学力向上の取組みの改善とともに、学校における課題を整理して、課題改善する取組みを進めていきます。



《お願い》

□学習への意欲は、子どもの自尊感情と大きな関係があります。友だちやきょうだいと比較することは、意欲を低下させる場合があります。今回の結果からお子様の伸びや課題を知り、まずはお子様の良いところを褒めてください。その上で、課題について頑張って克服できるよう励ましてあげてください。そのことがお子様の学習意欲を高めることにつながります。

□学力の向上は学校が主にその役割を担いますが、各家庭におかれましても、今回の結果を子どもたちの基本的な生活習慣の見直しや今後の家庭学習の進め方等の参考にしていただきますようよろしくお願いします。

□調査結果のうち、正答率については、調査に参加した子ども並びに保護者の方にのみ提供しているものです。学校間の序列化や過度な競争につながらないよう、その取扱いについては、十分にご留意いただきますようお願いします。

令和6年度　すくすくウォッチの分析

河内長野市立南花台小学校5年生

すくすくウォッチについて

〇国語

概要

本校の平均正答率は、府の平均より1.6ポイント上回っていた。しかし、漢字や助詞、接続表現の問題では正答率が低くなっている。

特に成果が見られた問題例

7(1)文中の指示語の内容を捉える選択式問題。正答率100%。こそあど言葉を理解できている。文頭にある言葉の指示語だから分かりやすかった。

特に課題が見られた問題例

1書かれた文の意味を正しく捉え、適切な漢字を使って書く短答式問題。同音異義語の活用に課題がある。

10適切な接続表現を使って一文で書く短答式問題。書いた文章を推敲する中で２文を1文にまとめる経験が少ない。

〇算数

概要

本校の平均正答率は、府の平均より2.1ポイント上回っていた。正答率が低い問題が多かったが、府の結果と大きな差はなかった。

特に成果が見られた問題例

2(2)棒グラフと折れ線グラフの内容を正しく理解する選択式問題。グラフと問題文との関係性を正しく読み取れている。

2(3)ある二つの数量の関係を説明する記述式問題。例の説明があることで、それを参考にしながら取り組むことができた。

特に課題が見られた問題例

2(1)伴って変わる二つの数量の関係を□、△を用いて式で表す短答式問題。□と△の関係式の理解が定着していない。

〇理科

概要

本校の平均正答率は、府の平均より3ポイント上回っていた。基礎的な内容から復習し、応用問題に活かせられるようにする。

特に成果が見られた問題例

1(2)日光の集め方であたたかさが変化することを理解する選択式問題。正答率100%。実験の経験がしっかりと定着している。

特に課題が見られた問題例

2(3)棒磁石は両端の磁力が強いという性質をもつことを理解する選択式問題。実験したことについて、問題演習を通して理解を深める必要がある。

○すくすくウォッチ（教科横断的な問題わくわく問題）

概要

本校の平均正答率は、府の平均より6．5ポイント上回っていた。問題の意図や資料をよく読み取れている。

特に成果が見られた問題例

1（1）文章を読んで視覚的なイメージをとらえる選択式問題。特徴を示す言葉を読み取れている。身近な乗り物である自転車の歴史に、興味を持って取り組むことができた。

3（1）資料から読み取れることを考える選択式問題。国語のテストでも、文章を読み取る時の視点を説明している。

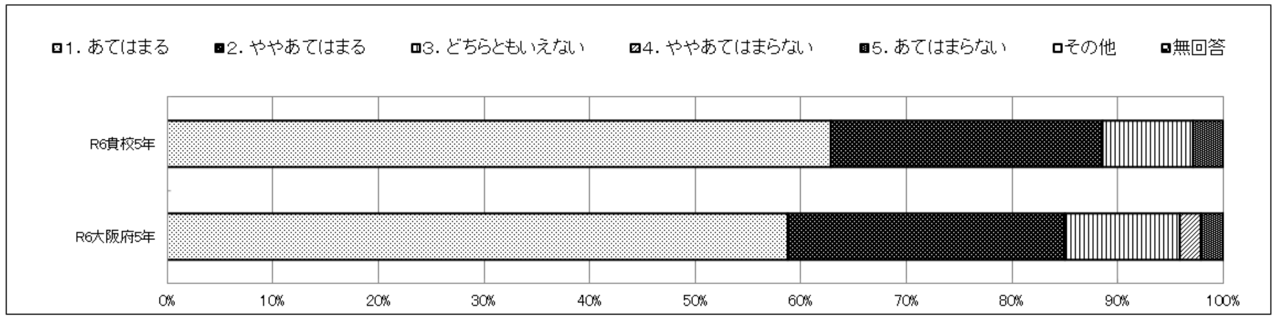
特に課題が見られた問題例

3（2）種々の資料からの読み取りとそれに基づいた思考を問う記述式問題。表に書く内容は適切に選択できている児童が多いが、調理法の共通点を挙げる点で正答率が低くなっている。

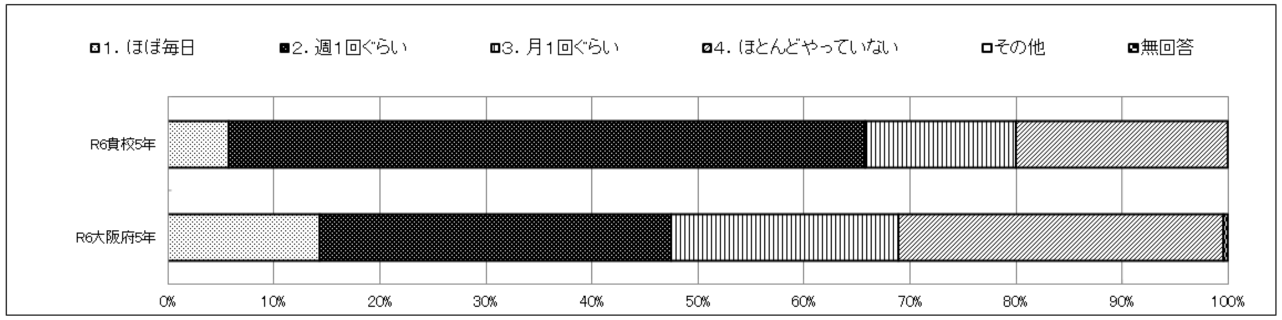
○児童アンケート（大阪府の結果と比較して本校の児童の傾向を考察）

◎特に成果が見られたアンケート項目例

質問番号	質問事項														教員アンケート番号
10	悲しんでいる人を見ると、なぐさめたくなる														
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答	
R6貴校5年	62.9	25.7	8.6	0.0	2.9	－	－	－	－	－	－	－	0.0	0.0	
R6大阪府5年	58.8	26.3	10.8	2.0	2.1	－	－	－	－	－	－	－	0.0	0.1	

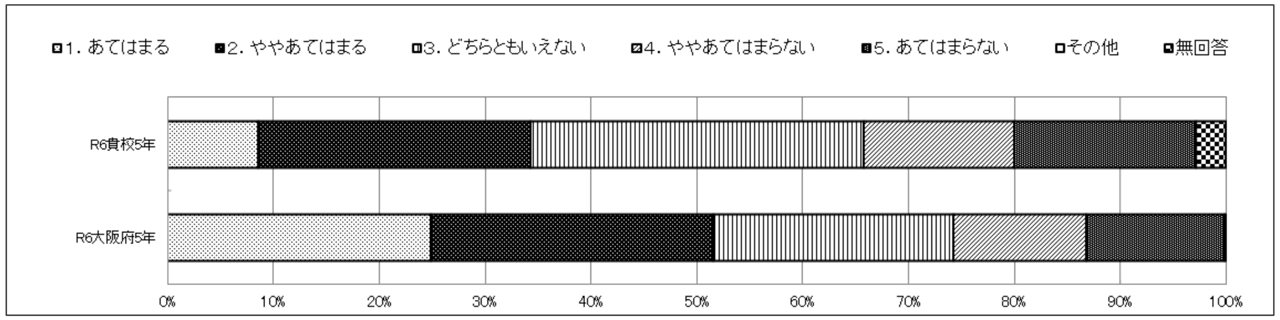


質問番号	質問事項														教員アンケート番号
54	授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分の考えを書きこんだり、友だちと意見を交流したりすることはどれくらいありますか														46
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答	
R6貴校5年	5.7	60.0	14.3	20.0	－	－	－	－	－	－	－	－	0.0	0.0	
R6大阪府5年	14.4	33.1	21.4	30.7	－	－	－	－	－	－	－	－	0.0	0.4	

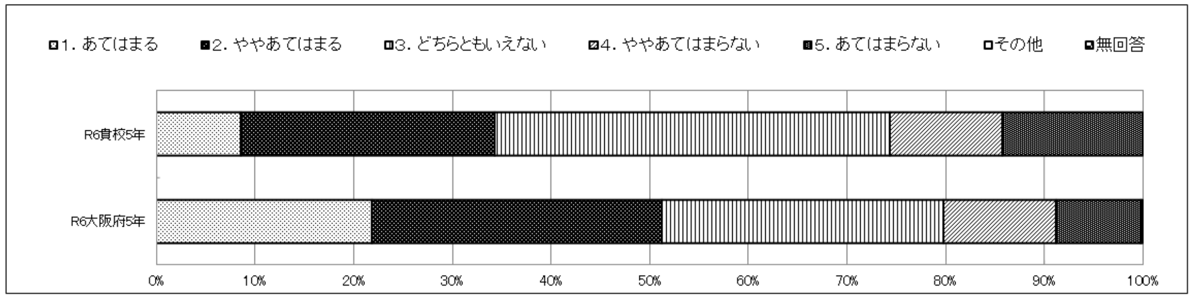


▲特に課題が見られたアンケート

質問番号	質問事項														教員アンケート番号
18	イライラを感じるときは、考え方を変えて落ち着いていられるようにする														
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答	
R6貴校5年	8.6	25.7	31.4	14.3	17.1	－	－	－	－	－	－	－	0.0	2.9	
R6大阪府5年	24.8	26.7	22.7	12.6	13.1	－	－	－	－	－	－	－	0.0	0.1	

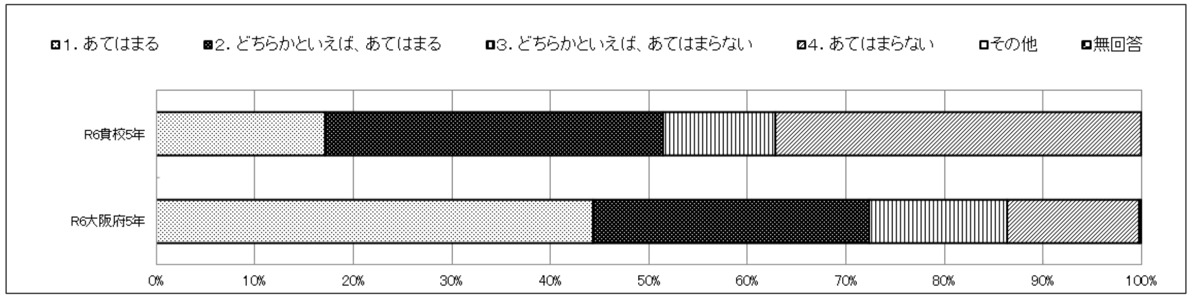


質問番号	質問事項													教員アンケート番号
26	予期しない出来事が起きたとき、原因がわかるまで調べる													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R6貴校5年	8.6	25.7	40.0	11.4	14.3	−	−	−	−	−	−	−	0.0	0.0
R6大阪府5年	21.9	29.3	28.6	11.3	8.6	−	−	−	−	−	−	−	0.0	0.2

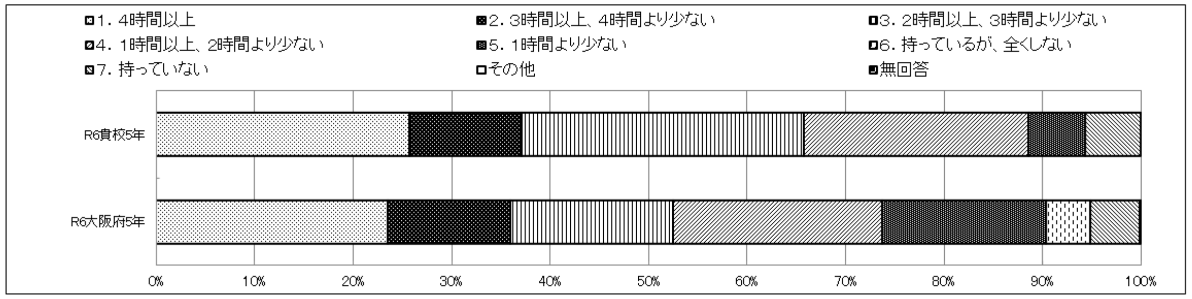


参考資料

質問番号	質問事項													教員アンケート番号
65	テレビや新聞等でニュースを見ている													96
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R6貴校5年	17.1	34.3	11.4	37.1	−	−	−	−	−	−	−	−	0.0	0.0
R6大阪府5年	44.3	28.1	14.0	13.4	−	−	−	−	−	−	−	−	0.0	0.2



質問番号	質問事項													教員アンケート番号
69	ふだん（月曜日から金曜日）１日に、およそどれくらいの時間、学習以外（ゲームやSNS等）にスマートフォンやタブレット等を使っていますか													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R6貴校5年	25.7	11.4	28.6	22.9	5.7	0.0	5.7	−	−	−	−	−	0.0	0.0
R6大阪府5年	23.6	12.4	16.5	21.2	16.6	4.5	5.0	−	−	−	−	−	0.0	0.2



児童アンケートについて

質問番号（10）では、88.6%の児童が肯定的な回答をしている。人の気持ちに寄り添う心が育っていると言える。また、（54）のように、日頃からICT機器を効果的に活用することができている。

一方で、（18）や（26）のように、自己理解や自己解決の項目において府と比べて肯定的な回答の割合が低い。気持ちを落ち着かせる方法を身に付けたり、自分で考えたり調べたりしながら課題解決に向かい、最後まで考え抜く経験を積ませたい。

（65）や（69）では、ニュースへの関心の低さやスマートフォンやタブレットへの依存が挙げられる。学校でも新聞記事を要約する学習を行い、新聞に触れる機会を増やしたり、電子機器の使い方や生活への影響などについての情報教育を引き続き行っていきたい。

学校が重点的に取り組んでいくこと

以上のような分析をふまえ、以下のような取組みを進めていきます。

〇学ぶ意欲をはぐくむ授業づくり

・友だちと意見を交流して考えを深める授業。
・条件に沿って自分の考えをまとめて記述する練習。（要約、作文、ふりかえりなど）
・文章のポイントを読み取る工夫。（本文や資料などの大事なところに印）
・各教科における自力解決学習。
・読書活動の充実を図り、語彙力を高める。

〇自己肯定感と自己有用感を高める取組み

①自ら意欲的に学ぶ力の育成
・自己理解を深め、自尊心の向上。
・自主学習の推奨と子どもの評価活動による意欲喚起。

②リーダーシップの育成
・わくわくまつり等、児童が主体的に企画・運営できる行事の設定。
・異学年集団を活用してのリーダーシップの育成。

③他者への貢献力の育成
・高学年の児童による下級生への貢献の機会の設定。
・地域の方の協力への感謝と交流の機会の設定。

児童のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと

〇自分からすすんでチャレンジしよう。

いろいろな方法を試して、自分に合う方法を見つけましょう。分からないことや知りたいことは、まず自分で調べてみましょう。

〇自分のことや相手のことを深く知ろう。

自分の得意なことや苦手なことを見つけましょう。自分の思っていることは言葉で伝え、話を聞く時は相手の気持ちになって最後までしっかり聞きましょう。

〇時間を大切に使おう。

ゲームやスマートフォンの時間を守り、自主学習や読書の時間を充実させましょう。また、テレビや新聞で日々のニュースにも目を向けましょう。

保護者のみなさまに協力してほしいこと

〇基本的な生活習慣を整えてください。

ゲームやスマートフォンの時間をお子様と一緒にふり返ってみてください。また、子どもたちが、朝ごはんや睡眠時間、学習時間など家庭での基本的な生活習慣を守ることで気持ちが安定し、学習意欲や良好なコミュニケーションにもつながります。

〇たくさん褒めて認めてあげてください。

家で褒めてもらえている子どもたちが多くいました。引き続き学習面の結果だけでなく、学習の過程や生活の中でもたくさん褒めてあげてください。

〇一緒に過ごす時間を大事にしてください。

家の人と一緒に遊んだり、勉強したり、家の仕事をしたりしている子も多くいました。家が安心できる場所であることで、子どもたちは学校や社会で様々なことに思いっきり挑戦していくことができます。日頃からのサポートありがとうございます。これからもご協力をよろしくお願いいたします。